

## ● 石川県金沢市（8月11日）

【人 口】457,477人

【面 積】467.77k㎡

【財政力指数】0.80

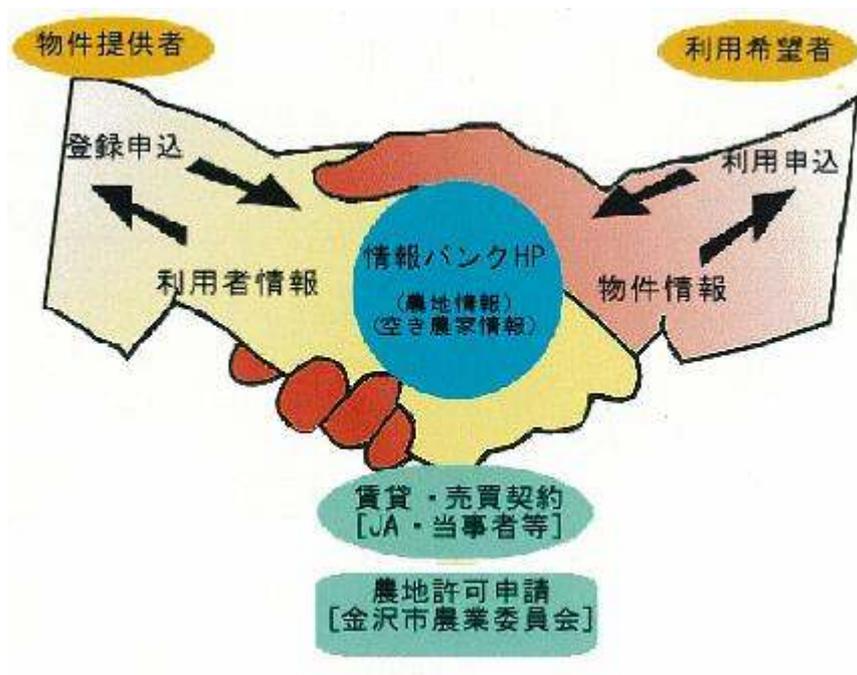
### ◆視察事項 「農業支援施策について」

#### 1 金沢市の農業

金沢市の農業は、都市近郊型農業で、平坦地域、砂丘地域、河北潟地域、中山間地域、市街化地域に分けられ、それぞれ地域の特性を活かして、加賀野菜をはじめ、すいか、だいこん、ほうれんそう、梨など多種多様な農産物が生産されている。

#### 2 農地・空き農地情報バンク

遊休農地等や中山間地域の空き農家の賃貸情報等を紹介し、農地の有効活用と定住促進を目的、として、平成20年度に開設された。



#### 3 加賀野菜加工品認証制度

##### (1) 目的

加賀野菜を使用した加工品を認証し、加賀野菜ブランドに対する消費者の信頼と評価を高め、加賀野菜の需要拡大とブランド力の向上を目的としている。

##### (2) 対象加工品

- ①加賀野菜を原材料として製造された加工食品であること。なお、使用する加賀野菜と同一品目の他産地の野菜を合わせて対象加工食品の原材料とすることは認められない。
- ②原材料及び食品添加物等について、製造又は販売に適用される法令等を遵守し、適切な商品表示がされたものであること。
- ③加賀野菜のブランド力の向上に寄与するものと認められるもの。

### (3) 認証について

- 認証期間：認証を決定した日から3年間（3年毎の更新）
- 認証料：1加工品毎に、5,000円（更新時2,500円）
- マークの表示：認証事業者（認証を受けた加工業者）は、加賀野菜加工品認証マークを包装容器などに印刷して販売することができる。

#### ※加賀野菜

- ・金沢市農産物ブランド協会が加賀野菜として認定している品目であること。
- ・金沢市内の農家が生産したもので、農薬、肥料等の使用履歴を明示した生産履歴を有し、金沢市農産物ブランド協会等の指導を受けて生産されたものであること。

#### ※金沢市農産物ブランド協会

- ・金沢市特産農産物の生産振興と消費拡大の推進を目的に、流通業界、農業団体、生産者、有識者、消費者、行政が一体となり、平成9年に設立・発足。



#### 【委員の感想】

- 農地面積や農家戸数が年々減少し、耕作放棄地が増加している中で、農地等の情報をホームページへ掲載する制度は、農業支援施策の参考になった。
- どの地域でも耕作放棄地が増加しており、解決できる名案もないようであるが、良いと思われる施策はやってみるべきだと思う。
- 加賀野菜を販売する店や加賀野菜を使った料理を提供する店を登録制にすることにより、付加価値を上げる取り組みは、一考の価値があると思う。
- 本市もブランド化事業を行っているため、参考となる点は取り入れるべきと思う。
- その土地の特長を活かして、農産物のブランド化を推進している施策は参考になった。
- 地元のJAとの連携は、見習うべき点があった。